



2024 年度 市政懇談会
＜南地区町内会・自治会連合会＞

次 第

[日時] 2024年10月3日(木) 18:30 ～ 20:00

[場所] 南市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 横山 法子
南地区町内会・自治会連合会 副会長 細川 客志

○ 連合会長の挨拶

南地区町内会・自治会連合会 会長 長谷川 義剛

○ 市長の挨拶

町田市 市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 交通弱者対策に関して

【都市づくり部】

2 公園の管理体制について

【都市づくり部】

3 学校統廃合について

【学校教育部】

4 歩道の安全対策について

【道路部】

5 境川の水防について

【下水道部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 南地区町内会・自治会連合会 副会長 須藤 晏男

2024年度 南地区町内会・自治会連合会 市政懇談会 議事録(要旨)

[日 時] 2024年10月3日(木) 18:30～20:00

[場 所] 南市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 大貫 一夫

道路部長 深澤 香織

都市づくり部長 萩野 功一

下水道部長 守田 龍夫

学校教育部長 石坂 泰弘

市民部市民協働推進担当部長 横山 法子

南地区町内会・自治会連合会長 ほか24名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

市民部南市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

南地区町内会・自治会連合会

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 交通弱者対策に関して

南地区は急速な高齢化が進み高齢者人口比率の増大に加え、地形的に高低差が激しく買い物や通院など日常生活の移動に困難を感じています。

(1) ここ数回の市政懇談会でも継続して要望していますが、南町田駅の先など路線バス空白地域が存在しています。路線バスの既存ルート of 延伸を含めた交通弱者への対策の進捗状況をお聞かせください。

（２）高齢者施設が所有する福祉車両を活用した移動支援を行っている地区があると聞きます。この事業内容をお聞かせいただくとともに、市が行っている財政的支援を含めた支援策についてお聞かせください。

【回答】

都市づくり部長

（１）路線バスの既存ルートへの延伸については、バス事業者に対して打ち合わせの機会等で働きかけを行っています。

しかし、今年４月に「自動車運転者の労働時間等の改善のための改正基準」が適用されたことによる勤務時間の見直しによって運転士不足の状況はさらに深刻化しており、バス事業者においては減便を伴うダイヤ改正を実施せざるを得ない状況です。

このように現行路線の維持にも苦慮している中で、既存ルートの延伸は大変難しい状況にありますが、地域の皆さまの声も含めて、引き続きバス事業者と情報を共有していきます。

路線バス関連の他に交通弱者への対策については、鶴間町内会や都営金森アパート周辺の皆さまと意見交換の機会を持っています。

意見交換では、地域の皆さまの現状をお聞きするとともに、「地域の支え合いによる移動支援」を解決策の一つとして紹介しています。

（２）ご質問いただいた移動支援の事業内容ですが、地域と高齢者施設等が主体となり、施設の空き車両を活用して、高齢者等を、買い物などの外出目的のために、週に数回、近隣スーパー等に送迎をする取組です。

施設の車両を活用した事例として、近いところでは、成瀬の鞍掛台で行われている「くらちゃん号」があります。

また、市内では、相原、忠生、玉川学園、鶴川など、１０地区で行われています。

市では、地域の支え合いによる移動の取組に対して、技術的・財政的支援を行っています。

例えば、道路運送法等交通法規に関する技術的支援や、消耗品購入費や印刷費、備品購入費、燃料費等を対象に「支え合い交通事業補助金」を交付する財政的支援を行っています。

また、支え合い交通を実施したい方のために「支え合い交通導入の手引き」を今年の４月に作成しました。

支え合い交通がどのような取組なのか、また、支え合い交通を始めたい場合はどのような手続が必要かといった内容をまとめ、ホームページでの公表や、高齢者支援センターでの配布を行っています。

《質疑》

鶴間町内会

先ほど、鶴間町内会と意見交換会をされたということで、私は会長をやっていますけれども、知らないのですけれども、こういった打合せをされているのでしょうか。

都市づくり部長

町内会とは、去年の11月9日に打合せをしています。内容としては、交通の便が悪いところに対して支え合い交通などを紹介させていただき、去年の11月以来、次のステップに来ていない状況です。金森については、昨日も話合いが行われています。

鶴間町内会

それだったら分かります。今いろいろ会長が質問しているのは具体的にどうするかという話で、何かを紹介したということはあまり答えになっていない気がするのです。少しかみ合わないような気がするのですが、いかがでしょうか。

都市づくり部長

今回の質問趣旨は、既存ルートの延長を含めた交通弱者への対策の進捗状況とのことですが、今、話合いを通して新たな交通を導入しようという動きがあることを紹介させていただいたとご理解下さい。

2 公園の管理体制について

一時避難場所などに利用される地域公園において、雑草などが伸び放題で管理が行き届いていない様子が伺えます。

地域公園の管理体制の現状をお聞かせください。

【回答】

都市づくり部長

市が管理する公園緑地は、約830か所あります。

管理体制としては、昨年までは市が造園業者に直接委託発注して草刈り等の作業を行っていましたが、今年度からは、公園の日常管理や要望対応を一体的に行う指定管理者制度を導入し、市が選定した指定管理者が管理を行っております。

これ以外の管理手法の一つとして、町田市では、公園の管理について、地域の皆様のご協力をいただき、清掃や草刈り等を行っていただく「公益的活動団体」の登録制度を設けております。

現在、町内会、自治会、老人会、子供会、学校、民間事業者の方々などで約210団体にご登録いただき、公園管理の活動に取り組んでいただいております。

この活動に対して、半期ごとに活動報告を提出していただき、謝礼金をお支払いしております。地域でご協力いただける場合は、ぜひこの制度の活用もご検討ください。

なお、今後の公園管理については、施設の老朽化や大木化した樹木及びナラ枯れ等の対応で、厳しい財政状況が続く中、大規模公園や避難広場に指定している公園等、しっかりと手を入れていく公園と、それ以外の公園で区別することも考えていく必要があると認識しております。

《質疑》

金森三丁目町内会

私たちの町内会では、金森中央スポーツ広場の管理を担当しています。先日、スポーツ振興課から私たちの公園管理についてお手紙をいただきまして、内容が、公園にある滑り台の管理が行き届いていないのではないかという匿名の電話があつて、それが私たちのところに回ってきた状況です。実際、その滑り台自体は、グローブジャングルだとか、ブランコのように可動部がなく、比較的しっかりしたもので、ただ、これは宝くじ振興会の高速滑り台という形で寄贈されたものらしく、結構角度が急で、頭頂部のところに、デザインだと思うのですが、ぼつぼつ穴が空いているのです。小さいお子さんが乗るのには危ないのではないかと懸念される方もいます。ただ、これが管理不行き届きなのかは少し議論があるところです。

私も気になったので、知り合いの友人の弁護士にいろいろ聞いてみたのですが、民法の717条の管理者責任として、土地の占有者が損害賠償責任を負うと。公園の入り口には、公園使用に当たって、事故などについては本人の責任ですという旨はうたっているのですが、これは免責事項にはならない。管理不行き届きに関する立証責任については被害者が負うということを聞いています。

これだと町内会で責任を負いかねる部分があるので、保険会社に問い合わせ、町内保険で取りあえずカバーされますよというところで、特に今は行動を打たないことになっているところなのですが、私が懸念していたのは、市の側が下請業者に丸投げするように匿名の苦情をそのまま放り投げてくる。結局、退会者もどんどん増えていく町内会でリソースが減ってきている。公園の管理は、今ご担当いただいている方が70代です。1人で淡々とやっていただいているのですが、この方が来年退任された後の後継は、実際のところ、見つけるのが非常に困難ではないかという懸念があります。年間

合わせて2万円というお手当は頂いて、町内会の収入とはさせていただいているのですが、今後これを維持できるかどうかというところで非常に懸念があって、仮にこれを返上することになったら、スポーツ広場に置かせていただいている町内会の防災倉庫も全部撤去しろと言われました。

町内会に隣接するスポーツ広場なので、被災直後の避難場所として大いに活用を期待している場所ではあるのですが、ここを、管理者としての責任を果たせないのであれば全部防災倉庫も撤去しろということを言われてしまうと、今後の共助であるとか、町内会の防災能力について、維持が非常に困難になるのではないかと。仮に、今後1、2年、気力のある方がお引き受けいただいたとしても、これが5年、10年というスパンで維持可能な制度なのかというところで非常に懸念があります。

なので、こちらで市のご対応というか、今後の長期的なプラン、すぐにご回答いただくのは難しいかもしれませんが、ちょっと懸念をお伝えしたいと思いました。

都市づくり部長

いろいろご迷惑をおかけして申し訳ありません。まず、市の公園であれば、管理瑕疵がある場合は、通常、町田市で対応します。町内会にご連絡が行ってしまったということは大変申し訳なく思っています。その場合、すぐ市にお伝えいただければ、今後は市で対応させていただきます。一般的に市でも公園の部分については管理瑕疵で、たまに、どこかで穴が空いていて落ちてけがをしてしまったなど、そういったことについては保険対応などで、当然、被害に遭われた方に市でおわびに行ってお話をさせていただいて対応するという形を取っていますので、今度そういうことがあったら、市へご連絡いただければと思います。

もう1点、公益的活動をされているということで、なかなか高齢の方で厳しい中、それも大変感謝申し上げます。そこでやめるときは防災倉庫を撤去しなさいということをどのように言われたのかは、私も直接は分かりませんが、その辺は十分話合いの余地はあるかと思っていますので、今後、私も帰ったら公園管理の担当に伝えますので、万が一のときでも地域で必要な防災倉庫はなるべく維持できるように考えてまいりたいと思っています。

金森親和会

市長と市民協働推進部長はご存じだと思いますけれども、一昨日、小川富士見台の町内会で市長と語る会をやったときに、小川富士見台の方が市長に対して、指定管理者制になってから対応が悪い、連絡しても何もやってくれないと。2点言われていて、砂場の砂がなくなって、もう底が見えているのに砂を入れ

てくれない、それから、カラスの巣ができたのに、すぐに撤去してくれない。そのうちに卵が返ってしまって結局取れなかったということになって、いろいろ指定管理者制度の対応について指摘があったので、その件を中で共有していただいて、今の指定管理者の方がそのままぽんと投げたのかもしれないので、その辺はうまくやってくださいということと、今の話を聞いていると、そう言われたような形で、市の担当者に言ってくださいというのが、多分、指定管理者に言ってくださいになりそうなので、そこら辺もちゃんとフォローをお願いします。

（司会）地区連合会

私もたまたま昨日、金森中央町内会の管内の公園の前にリヤカーが放置されていた件で1つお願いしたところ、敷地の中か外かということで二転三転したということが、今、過渡期といいますか、外部団体に移行されているので、そのようなことがありました。

都市づくり部長

大変お恥ずかしいことで、いろいろとご迷惑をおかけしまして申し訳ございません。指定管理者となってちょっと対応がという話を私も今日聞きましたので、改めて職員には徹底していきます。基本的には、市にご連絡いただければ町田市で、指定管理者に丸投げをするのではなくて、どのような対応がよいのかも含めて、可能な範囲で早急に対応できるよう、これから職員の意識も変えるように、伝えながら、少しでもよくなるように努めてまいります。

3 学校統廃合について

小学校の統廃合について南地区の進捗状況をお聞かせください。

また、これらに伴う通学路の安全対策やスクールバスの検討状況をお聞かせください。

【回答】

学校教育部長

2021年5月に策定した「町田市新たな学校づくり推進計画」では、南地区の小学校について、現在7校ある小学校を統合により5校にしていく予定です。

資料をご覧ください。具体的には、まず項番1ですが、既に2021年度から検討に着手している第1期の南第一小学校については、学校統合を伴わず単独で建て替えます。

また、今後、新たな学校づくり基本計画の検討を始める第2期以降につきま

しては、現在の計画では、項番２の南第三小学校と南第四小学校の統合については、２０３０年度に南第四小学校が仮校舎へ引っ越し、２０３３年度に新校舎の使用開始と合わせて南第三小学校と統合します。

次に、項番３のつくし野小学校と南つくし野小学校の統合については、２０３３年度に仮校舎の使用開始と合わせて２校を統合し、２０３６年度から新校舎使用開始を予定しております。

その他、鶴間小学校と小川小学校につきましては、２０４０年度以降にそれぞれ単独での建て替えを予定しております。

南地区の学校統合等の進捗についてでございますが、第１期として、現在、南第一小学校において、２０３０年度に現在の南第一小学校の位置に建築する新校舎の使用開始を目指した、新たな学校づくりの取組を進めております。

２０２２年度には、南第一小学校の保護者、地域の方、学校運営協力者、教職員の代表で構成する「南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画検討会」を設置し、その報告結果を踏まえて２０２３年３月に「町田市南第一小学校地区新たな学校づくり基本計画」を策定しました。

２０２３年度からは、この基本計画に基づき、保護者、地域の方、学校運営協力者、教職員の代表で構成する「南第一小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会」を設置し、通学路の安全対策などの検討を行っています。

南第一小学校については、学校敷地が狭く、校庭に仮校舎を建設した場合、体育の授業や放課後活動、休み時間の遊び場などのスペースがなくなり、教育活動に大きな影響が生じることから、南中学校にはご不便をおかけしますが、南中学校の校地内に南第一小学校の仮校舎を設置することとしており、２０２５年度末から仮校舎の建設工事に着手します。

２０２７年度には、現在の校舎の解体・新校舎建設に着手するため、南中学校校地に整備する仮校舎に引っ越し、その後、２０３０年４月から、現在の南第一小学校に整備する新校舎を使用する予定でございます。

第２期以降の南第三小学校と南第四小学校の学校統合、つくし野小学校と南つくし野小学校の学校統合については、推進計画を策定して以降、急激な施設整備費の高騰、労働時間の規制強化による工期の延長といった社会環境の変化が起きていることや、市の財政状況を踏まえ、整備時期の一部修正の検討を進めています。

通学路の安全対策については、南第一小学校地区と同様に検討を行い、必要な対策を実施してまいります。

最後に、スクールバスの検討状況についてでございますが、今後検討に着手する第２期の地区については、教育委員会だけでなく、庁内横断的に検討を行うため、プロジェクトチームを立ち上げ、検討を開始しています。

この検討の中で、路線バスに加え、ライドシェアを含むタクシーやスクール

バスなどの活用可能性について、関係者の方々の意見を伺いながら、安全性、利便性、経済性等の要素を総合的に勘案し、比較検討を行う予定です。

この検討の結果を踏まえながら、市内全域でのあり方も検証していきたいと考えています。

《質疑》

つくし野1・2丁目自治会

質問というのは、繰り返しになりますけれども、南つくし野小学校とつくし野小学校の計画の概要をおっしゃいましたけれども、ちょっと頭に入ってきてませんでしたので、もう少し詳しくご説明いただけますか。進捗状況に関して変更があると聞いていますので、その辺をよろしく願いいたします。

学校教育部長

つくし野小学校と南つくし野小学校の統合の計画については、まず一番最初に町田の新たな学校づくりの冊子をつくったときには、セントラルパークというふうにして、それに対しては、あそこは地区計画があるということで地域の方のご理解が得られないということで、2番目の候補地としてつくし野小学校に統合するということまではご存じかと思います。その先、実際に、こちらのつくし野小学校、南つくし野小学校が2033年度に仮校舎の使用開始ということ始めて、統合して、2036年度から新校舎の予定ということで、当初のころからまだ変更しておりません。今現在、この計画の一部修正を検討していますので、これを経て、新たに実際の着手の時期や整備の時期も踏まえて本年度中に出し直す予定になっていますので、現在でどうなります、変更になりますということは、申し訳ないのですが、今の段階ではお答えできない状況です。

南つくし野自治会

今の話で、我々の南つくし野小学校がつくし野小学校に統合されるということで、ごく一部ではあるのですが、反対運動を町内会・自治会の中で結構な人がやっています。3週間前に納涼大会をやったのですが、その場所でも署名行為をやって、統合反対だということがあるのです。自分は学校運営協議会に参加していますが、9月にやったときには、そのときの予想よりも南つくし野小学校はどんどん増えていると。減り方はそれよりも遅いので、来年にはもう既に教室が足りなくなる予想だという話も聞いています。それで、統合が本当に正しいのか。そして、そこに書いてあったセントラルパーク、我々、南つくし野からいえば、どちらかというと真ん中なので、つくし野小学校に行くよりはセントラルパークのほうが納得できるのです。

公園の周りで反対しているということなのですから、50年前に聞いた話では、南つくし野小学校ができる前、南つくし野小学校の土地は公園だった。その周辺の方が公園の周りだから引っ越してきたとって大反対をしていた。それを強行して小学校をつくったと聞いていますけれども、セントラルパークでということはどうしても不可能なのではないでしょうか。

学校教育部長

セントラルパークの話になりますと、あそこの地区は、今、町田市内で何か所かつくっているのですが、地区まちづくり計画を策定していきまして、それは地域の住民の方と行政とで一緒になってその町をつくっていくということで計画をつくっておりまして、現在は、その変更には、住民の方の賛成がないと変えられないと定めています。ですから、それを变えることは難しいという判断をさせていただきました。

あと、一部のところでそのような反対運動が起こっているのは承知しておりまして、正直言います、いろいろなところで様々なお声はいただいています。反対の声もありますし、賛成の声もありますし、どちらもこちらに届いております。

ただ、南つくし野小学校は確かに増えていますので、今、仮設の校舎を建てているのです。それが、この計画をしている2036年ぐらいになるとか、2030年を超えますと、逆に伸びていかなくなるという予測をうちのほうは立てています。それが、もう既にマンションの建設計画などが出ているので、そういうものも含めた予想の中でいきましたが、もう2030年ぐらいから横ばいで、ちょっと下がり始めるという予測を立てています。そういう増勢の推計も今新しく計算し直していますので、そのところでどのようになるか。

あと、先ほど言いましたように、整備時期の検討もしますので、もしかしたら遅れるかもしれない。そうすると、子どもはもっと減っていくかもしれない。そのような課題がありますので、そういうことも考えながら今回の一部修正をしていきたいと思っています。

(司会) 地区連合会

学校の統合関係は大枠でのお話ということで、あと個別には地元の学校での説明会とか、そういうところで、まだ9年先ですから。でも、早めに対策は立てたいと思いますけれども、そういうところで集中してお話しされてはどうでしょうか。

4 歩道の安全対策について

道路の管理について、南地区では横断歩道や一時停止など路面標示が消えかかっているところは何カ所もあり、特に日が暮れる時間帯は高齢者や運転手から見えづらく危険で、交通事故の発生を懸念しています。

市としてどのようなルールや優先順位で路面標示の補修を進めているのかお聞かせください。

【回答】

道路部長

議題4の歩道の安全対策についてお答えします。

市道における路面標示につきましては、交通管理者である警察と道路管理者である町田市が役割を分担して、設置しております。

具体的には、横断歩道、停止線、止まれの文字、速度規制等の交通規制等を伴う路面標示は警察が設置し、中央線、外側線、十字やT字の交差点表示等の交通規制を伴わない路面標示は町田市が設置しております。

町田市に横断歩道等の警察が設置する路面標示に対するご要望をいただいた場合は、町田市から警察に要望内容を申し伝えて、早期実施を働きかけております。

町田市が設置する道路の中央線や外側線等につきましては、確保している予算を超えてご要望をいただいているため、交通量や、道路形状、通学路の指定状況等を踏まえ、優先度をつけて危険度の高い案件から順次対応をしております。

《質疑》

鶴間町内会

去年も言ったのですが、町田市と警察と役割を分けているのはいいのですが、我々からしたらどちらかよく分からないし、ミラーもそうです。ミラーのことを言ったら、多分、部長の部下の人ですが、いつになるか分からないみたいなことを言うのです。そこは、246からうちの町内に入ってくるところにミラーを立てるのだけれども、横断歩道をつくる計画があるから、多分、横断歩道は警察、だから、ミラーはつukれないと言うのです。では、横断歩道はいつできるのですかと言ったら、それは分からないと言うのです。子どもの使いではあるまいし。

何が言いたいかというと、ちゃんと町田市で責任を取って、これは次にいつやるとか、責任を持ってやってもらいたいということです。警察のほうは我々のことはあまり思っていないというか、交通量の問題だとか、そういう話で、町田市は我々市民のためにいろいろやってくれているのだから、私は、町田市が代表者になって警察と調整してもらって、これはこういう事情

で来年度になるけれども、その次にはこれをやりますというようにきちんと答えられる体制をつくっていただきたい。

道路でも、傷んでいるから白線が引けないと言うのです。では、道路をつくるのは誰だと言ったら、また町田市。警察は、道路が傷んでいるから線は引けないと言うのです。では、道路はいつつくるのかと言ったら、それはまた分からないと言うではないですか。そこは、やはり町田市でまとめてやってもらえないかというのが質問プラス要望です。

道路部長

お問合せいただいた内容に明確な回答が出来ず、大変失礼いたしました。どの施設を誰が管理しているか、どこにご連絡していいか分からないから町田市に連絡くださっていて、それにちゃんと答えていくのが私たちの役割だということは認識しているのですが、警察や関係機関から具体的な回答が聞けないことが多いのが実情です。

ただ、分からないからと言ってそのままにしているわけではなく、めどがつき次第ご連絡するような形では対応しているつもりですが、今回のような白線を引くタイミングにはいろいろ個別に調整がありまして、すぐ答えが出る場合もありますし、本当に分からなくてずっと待たせてしまっている件もあることはご理解願います。今後、担当には、市民の方が聞きたいのは管理者の話ではなく、具体的な対応時期だということをしっかりと伝えていきたいと思います。

金森 1 丁目町内会

1 丁目町内会もこの間、パトロールをやりまして、白線が非常に消えているというご指摘を受けまして、道路を工事する町田の水道かガスか分かりませんが、それをやった後にきちんと白線を引いていない感じがするのです。最近のところは、もしかするとそれが工事の条件に入っていて引き直してくれているのかもしれないのですが、道路を 1 回掘り起こしてしまっ、そのままだ単に埋めて、白線が消えて、それをまた引いていくというのが見受けられないのです。結構そこのご指摘を受けましたので、それは入札でやるのか、緊急でやるのか分かりませんが、掘り起こしたら必ずまた白線を元に戻すという形を取っていただけると、もう少しこの問題がよくなるような気は若干しますので、それに関してはいかがですか。

道路部長

占用企業者の、ガスや電気工事で掘削したときに白線が分断してしまうケースのことだと思いますが、仮舗装後、本舗装までの間にそのままになって

しまっているのがあるのを私も見たことがあります。ただ、企業によっては仮の白線を引いてあったりするところもありますので、その辺、どのような対応になっているか持ち帰って確認させていただきます。ありがとうございます。

小川自治会

小川小学校が近くなので、そこの運営委員もやっているのですが、今年、暑い中で通学路の安全ということで、PTAの方と一緒に5班ぐらいに分かれて、副校長も出たのですが、点検して、それをお母さん方がまとめて、副校長に相談しました。先日、副校長に、その後、どうなっているのですかと聞いたら、やはり学校なので、副校長は教育委員会か、もしくは学校教育部に出しているという話なのです。そうすると、直接道路部には行かないので、その辺が市の中で、受けたものがちゃんと回っているのかどうか。特に横断歩道は警察の許可も必要なので、最終的に警察まで届けていただきたいです。副校長もただ書類を出しただけで、その後は聞いていませんという話なので、申し訳ないですが、市の方々全体にお願いしたいのですが、受け付けたものがどのようにになりましたということをフィードバックしていただきたいです。駄目なら駄目、こちらに回したなら回したと、回した先をはっきりしていただければ、こちらも、そちらに確認しますということになりますので、市の中で横断的にそれをやっていただいているかどうかの確認をしたいので、お願いします。

道路部長

通学路点検は、地域の方々、学校関係者の皆様と一緒に道路部も回らせていただいております。点検結果についても共有しており、道路部の対応としては、要望内容を確認し、どういう優先順位で対策するかを協議した上で警察にお伝えし、学校とも連携しながら回答しています。たしかホームページに点検結果を載せてあったと思います。通学路点検結果は最優先で対応させていただいているところです。

学校教育部長

補足ですが、2年に1度、通学路点検をさせていただいていまして、学校教育部だけではなくて、地元の方も、学校関係者も、道路部も、あと東京都、警察関係も一緒になってやっていますので、すぐやるということでやっているのです。一応載せてはいると思うのですが、ホームページが見にくいというのが一番問題だと思うのですが、対策は真っ先にさせていただいています。

（司会）地区連合会

歩道の安全対策、先ほど1丁目の会長もおっしゃられた、道路を掘り起こした後、ラインを引くのは一対のもののような気がしますので、その辺は進めていただきたいと思います。

5 境川の水防について

昨今の異常気象により水害の危険性が高まり、南地区も境川が流れていることから不安を感じています。

東京都では、洪水対策として洪水調節施設を整備することで1時間あたり65mm規模の降雨に対応を図るとしていますが、この整備状況をお聞かせください。

【回答】

下水道部長

境川の整備は、おおむね30年以上かかる長期的な計画となっており、「境川水系流域治水プロジェクト」に基づいて、短期、中期、中長期にかけて段階的に進められております。

この計画は、河川整備で50mm、調節池整備で5mm、宅地開発に伴う調整池の設置や雨水浸透で10mm、合わせて65mm規模の降雨に対応するものとなっています。

東京都管理区間では50mm規模の降雨に対応する河川護岸は整備済みですが、鶴間小学校付近の鶴瀬橋から下流の神奈川県管理区間において、相鉄線との交差部や藤沢橋周辺で川幅が狭くなっている箇所があるため、流下能力がおおむね30mmとなっております。

相鉄線との交差部においては工事が進められておりますが、藤沢橋周辺の整備には、長期間を要する見込みであると神奈川県から伺っています。

東京都は下流側である神奈川県管理区間の河川整備が進まないため、上流側の町田市周辺の安全性を早期に向上させるため、調節池の先行整備を行っています。

現在、工事を進めている「境川金森調節池」と「境川木曽東調節池」については2026年3月の取水開始を目指していましたが、境川金森調節池については若干遅れが生じていると聞いています。

完成すると合わせて20万m³の貯留量となる予定です。

また、これらに加え、木曽中学校付近の旧河川敷に新たな調節池となる「境川木曽西調節池」を事業化し、現在、設計を進めております。

境川の整備促進のために、市といたしましては、今年の5月と7月に神奈

川県の各地方管理事務所に対して2024年度の整備状況の確認や境川の早期整備を要請いたしました。

今後は、神奈川県県土整備局に対し、計画的に境川の整備を推進していくよう強く要請してまいります。

《質疑》

南町田自治会

65mmが貯留量ということで、こういった調整池ですと5mmですよ。50mmが河川ということで、現在、我々の地区を流れている境川は30mmになっていて、先ほど出ました鶴間小学校辺りが恐らく最終的に洪水が起きるのではないかと考えているところです。それを体験したというのは、去年、実態を見せてもらいまして、去年、30年かかると言われて、1年たったので、もう29年かなと思っているのですが、そういった進捗状況をぜひ教えていただきたいのです。今こうなっていて、これだけ進んでいるのだということ、1年に1回でも構いませんが、市の報告の中で教えていただきたいと思っています。

下水道部長

皆さん境川の整備が進まないということでご心配しているのは理解していますので、市もきちんと伝えているのですが、なかなか進まない現状にあります。そういったところを、どういう形になるかは分かりませんが、きちんと状況はお伝えできるようにしたいと考えています。

数字から見ると、5mmだとあまり効果がないのではないかと話がありますが、この2つができますと20万m³という雨がたまるわけですから、調節池ができたことによって下流の水位が下がるということです。比較にはならないのですが、境川の下流の境川遊水池というものが藤沢市にあるのですが、そこは規模が大きくて100万m³ぐらいたまるのですが、これまでの効果として最大で下流の河川の水位が1mぐらい下がったと聞いていますので、この調節池ができれば、幾つと数値的には言えませんが、かなり効果があると思います。ただ、調節池をつければいいというものでもありませんので、河川の整備もきちんと推進するように、また働きかけていきたいと思っています。

(司会) 地区連合会

今のご意見で、途中の段階、例えば、相鉄のところ若干進んでいるのに藤沢のほうが遅れていると。そういった進捗状況は3か月、半年。1年たつとこの会合になってしまいますので、なるべく短いスパンで何らかの形でご

報告いただけると、ホームページ等もよろしくお願いします。

南町田自治会

8月30日に避難指示が出たと思うのですが、我々はそこら辺が敏感で、今130世帯7ブロックの人たちがそこに、境川に近いです。我々は電話とメールでその人たちに伝える業務をしていたのですが、今回は今までと違って、避難指示がぼっと出たのです。今までは高齢者等避難、そこでいろいろと時間の余裕があるという感じでやってくれと言ったのに今回やってくれと言っているわけではないのですが、今まではそうになっていたのですが、避難指示が土砂災害及び洪水という形で全市内対象に出たのです。ちょっと異様な感じを受けたので、そうせざるを得ない理由があったのでしょうか。

防災安全部長

今回、レベル4と言われる通知が急に出たということで、うちのほうは、気象庁からそういう情報を受けています。雨の状況は、それぞれずっと流れてくる中で、いつきは大丈夫だったという部分で気象庁から聞いてはいたのですが、そこが線状降水帯の雲の動きが急に変わったということで、4時50分に出されています。我々も避難施設を開けなくてはいけないということで、暗い中で皆さんに移動してもらおうと足場が非常に悪いので、そういったことで、急遽我々も出て、体制づくりの中では、前の日から我々は気象庁とのやり取りの中であったのですが、気象庁は、レベル4を急に出してしまったということで、皆様にお伝えしたという現状です。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

第2部、市政報告概要ということであります。全て説明すると今晚中かかってしまうので、取りあえずの説明はポイントだけやります。

その前に、今までのやり取りの中で感想というか、そういうお話をします。一番感じたのは、タイムラグがあって、要望したことに対して、その後どうなったかがあまり伝わっていないことがよく分かりました。道路部長が言い訳していたように、町田警察署に言っても、実際の交通規制みたいな話は桜田門のほうでやるのです。桜田門は都内全域を抱えているので、それぞれの警察署からもらっているものをみんな抱えているので、端からやっているということもあって非常に遅いのです。遅いのは道路部のせいではないと思っているから、道路部のせいではないのだけれども、戻ってきていないのは、きっと道路部がしっかりしていないからだと思うのは市民の普通の感覚です。ですから、そこ

にずれがある。

私どもは町田警察に言い、町田警察署から警視庁に言って、それぞれタイムラグがあるので、なかなか答えが来ない。こちらは一生懸命やっているという自覚はあるのだけれども、市民からすれば、答えがないのですから一生懸命やっているかどうかは分からない。という意味で、少しお答えの仕方についても考え方を工夫しなければいけないと、今日、非常に痛切に感じました。

それと、ほかのところでは川の話も、実は下水道部長の説明にあったように、藤沢橋のところは非常に狭くて、建物をきっちり川の周りに建ててしまっただけで広げられないのです。どうするかというと、この間聞いたところでは、バイパス管を整備することも考えているというもので、つまり2本にしようということを検討していて、川の水位がある一定を超えたら川の水を地下または迂回させて本線に戻すというものです。このようにしない限りはできないようになっていまして、それだとどれぐらい時間がかかるかは、まだはっきりしていないので、その辺も含めて、調べてお答えをするというところでないと、聞いている皆さんは納得しません。やはりそこまで丁寧に説明をすることが必要で、それから、先ほど言ったタイムラグもあるため、まだ答えが来ていませんでもいいので、途中経過を報告する必要があるかなと思いました。

なぜこの話をしているかというと、私は、今から20年ぐらい前に横浜の市役所に勤めていたことがあります。当時は中田さんが市長をやっていたのですが、打合せをしたときに韓国のソウル市役所の話が出まして、李明博という後に大統領になる方が市長だったときですが、建築確認とか開発許可を市役所に申請すると、今、あなたの建築確認の書類は何々課長のところに行っています。アクセスすると、ちゃんと返ってくる。まだ下りていないのだけれどもと言うと、何々局長のところは何日後に行きますという答えまで建築確認の申請をした人に戻ってくるのです。やっているのは全部パソコンです。今の話をしているのではなく、20年以上前の話です。ですから、当時のソウル市は、韓国はITが進んでいますし、個人のIDは全員持っていますから、なりすましができないので、20年前からそういうやり方をしています。

皆さんからいただいた仕事の問合せはたくさんあるので、多分、そういうやり方をして、道路なら道路の窓口に案件を言うと、何々の案件ということ、それはパソコン上でAIで理解できてしまうのですが、ここまでなっていますという回答が出てくるシステムにしないといけないかなと思っています。

一昨日、たくさんしかられたのですが、砂場に砂がないという、砂場ではないのではないかという話になってしまいましたが、そういうことも電話をしたら、電話をそのまま理解して、担当者の課長まで行って、そこから電話で応答できるようにするつもりです。

今の話は、ここだけでもいっぱいあるかもしれないです。草が生えていると

か、そういうものを、職員は、まだできないから答えたくないという心情があるのです。でも、そうではない。できないのだけれども、いつになったらできるということも言わなければいけない。先ほどの道路部長の線を引く話も、言っていないのですけれども、これは私の責任と言え責任なのですが、今持っている予算の4倍ぐらい来ています。私の住んでいる鶴川団地のところも、何十年も線を引いていないのです。昔、ここに線があったのかという記憶すら消えかかっているところがたくさんある。それを人間の頭で一個一個やっていったのでは追いつかないと思います。ですから、鶴川団地から来たら、今、4倍ぐらい来ていますから、あと4年後ぐらいには1kmのうちの半分ぐらい着手しますとか、そういう答えを次々に出さないといけなかなとなっていて、何を言っているかという、市民からの要望に答えるしっかりとしたシステムを全庁的につくらなければいけないと今感じています。

ここに来ていないほかのたくさんの要望があるので、それを職員が手で書いてやっていたのでは追いつかないという、言っているほうも、私の案件はどうしたのよと言いたくなるわけです。それは当たり前なのです。その答えが来ないというのは、本当に出したほうにとってはいらいらする話なのかなと思います。

あと七、八分なので必要なものだけ市政報告をします。いくつか報告がありますが、今話したのはプラスアルファということで、市民からの要望、問合せに即日、あるいは翌日ぐらいに答えられるシステムを、道路なら道路から始めてもいい、学校から始めてもいい。学校は今、統合で忙しそうですね。

それから、学校統合の話は、多分こういうことになると思うのですが、先に行けば行くほど子どもの生まれる数が減っていきます。もう70万人を切っているのです。数年前まで100万人の子どもが生まれていたのに、90万人台になったのはつい最近の話です。去年はもう70万を切ってしまいましたので、どんどん減っていきます。小学校に上がる子どもの数はどんどん減っていきますので、その辺が町田市だけ例外的に増えるとは思えないので、新しくマンションができたりして一時的に増えるところもあるのですが、全体の傾向としてはそうもいかなかなと思っています。

まず初めに、八王子の東京都立児童相談所、来年の6月以降に町田市内に東京都立町田児童相談所が山崎保育園の隣にできます。この辺の人たちも、今、虐待案件とか、そういう案件は八王子から児童相談所の職員が来ていますので、非常に遠いところから来ています。それが町田に来ます。

その次、成瀬子どもクラブ整備。成瀬子どもクラブは、お金が足りないと言われて7月の入札が不調になりました。今、再入札の最中ですので、半年ぐらい遅れて、来年の秋と言っていたのが再来年の春ぐらいまでに遅れそうです。2025年度と言っているのが2026年3月、4月のことになってしまうと

思います。

新たな学校づくりのことは、先ほど議論しました。

問題は次です。問題というのは何かというと、町田市にとっての問題です。小学校、中学校の給食費が3学期から無償化になります。聞いていないという話ですけども、私も言ったことがないのです。今日初めて言及しているのですが、東京都が来年の1月からの分を、給食費の8分の7まで市に補助するから、8分の1を出してくれと言ってきている状況です。明日、都議会の本会議で可決されますので、実際に1月からそのようになります。ということは、4月からまた有料になるというわけではなくて、東京都が財政難にならない限り、これからずっと無償になるということです。このことについて、まだロコミ段階ということで皆さんにお伝えしておりますが、そのうちどこかで発表しなければいけないと思っています。

次に、中学校給食センターについてです。南地域については来年の2学期にセンターが稼働します。工期が現在1か月ぐらい遅れていますが、何とか開業に間に合うように頑張っています。来年の2学期には市内全部の中学校が全員給食になります。

それから、保育料の無償化についてです。今年、第2子以降を無償化したのですが、第1子も保育料がただになります。これはいつになるか分かりませんが、早いと来年度から保育園がただになります。現在は、去年の10月から第2子以降は無償化されています。それを東京都の小池知事が全て無償化すると言っているのです。今回は給食費の無償化と違って市町村とちゃんと話し合っただけというから話合いになると思いますが、早いと来年の4月から保育園がただになる。どうなるか。南地域は待機児童がまだいるのですが、ただになってしまうと申し込む人が増えて、また待機児童が出るのではないかとこのことを今から心配しています。ただ、まだただになる話が決まっていないから地域の人には知らないですし、今年の12月にはもう来年度の申込みが始まります。ですから、その頃に言わないで、もう少し先にしようとかいろいろ作戦は考えているのですが、その頃に言うとうちに申込みが増えてしまいますので、少し心配をしています。心配なのですが、知事がそのようなことを言っています。

それから、西田・金森調節池上にスポーツ公園ができます。先ほどは水をそこから取り入れて（「境川木曽東調節池」と合わせて）20万tためることができるという説明を下水道部長がしましたが、その上に今、野球だとかサッカーができるように工事をしています。それが今の見込みだと28年度開設予定ですが、ひょっとすると遅れる。ただ、ここは東京都がサボっているのではなくて、入札が不調になっているのです。市役所も、先ほどの成瀬の児童館も不調になりましたが、このところ、急激に対前年3割増しという値上がりをし

ていまして入札不調が続いていまして、そういう意味で遅れているというのはご理解をいただきたいと思います。

説明の最後です。木曽山崎パラアリーナを、今のところ27年度末に使えるように仕事をしています。木曽山崎団地の中に障がい者優先の体育館ができます。今の総合体育館は障がい者優先ではないからパラスポーツの人たちは困っているのです。外れたら練習場がないということもあるので、今、木曽山崎団地の中に障がい者のスポーツを優先する体育館を造っています。これについては、当然ですが、全ての障がい者が使えるような設備を準備して、例えば、車から降りたら、そのままずっと体育館に入れる設計などをやっています。それが27年度末に完成の予定です。

というわけで、大分長くなってしまいましたが、概要の一部の報告です。

○閉会の挨拶（南地区町内会・自治会連合会副会長）

議題3 参考資料

【南地区】 新校舎建設中の使用校舎及び統合時期（小学校）

＜第1期本町田地区等＞

項番	対象	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	工事中の使用校舎
1	南一小	既存校舎		新校舎建設			☆新校舎使用		【2027年度】 ・南中に建設する仮校舎に引越し、工事期間中使用します。 【2030年度】 ・新校舎完成に合わせて新校舎に引越し
	南中		仮校舎建設	仮校舎					

＜第2期小山田地区等＞

項番	対象	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	工事中の使用校舎及び統合時期
2	南四小	既存校舎		新校舎建設			☆新校舎使用		【2030年度】 ・南四小の児童は南中の既存仮校舎に引越し、工事期間中使用します。 ・ 【2033年度】 ・南四小と南三小が閉校し、統合新設校が開校 ・新校舎完成に合わせて新校舎に引越し
	南中	既存仮校舎		既存仮校舎					
	南三小	既存校舎							

＜第3期鶴川地区等＞

項番	対象	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	工事中の使用校舎及び統合時期
3	つくし野小	既存校舎		新校舎建設			☆新校舎使用		【2033年度】 ・つくし野小と南つくし野小が閉校し、統合新設校が開校 ・工事期間中は南つくし野小の既存校舎を使用します。 【2036年度】 ・新校舎完成に合わせて新校舎に引越し
	南つくし野小	既存校舎		仮校舎（既存校舎）					